

製品名: PRKAG3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81841**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	54.3kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKAG3
別名	AMPKG3
遺伝子 ID	53632.0
SwissProt ID	Q9UGI9
免疫原	大腸菌で発現したヒト PRKAG3 (AA: 9-151) の精製された組み換え断片。

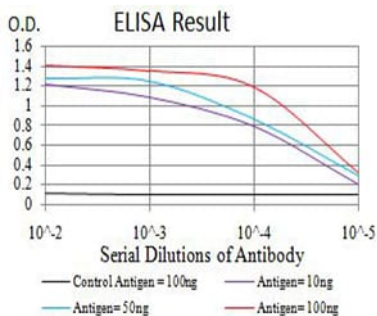
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の調節サブユニットです。AMPK は、 α 触媒サブユニットと非触媒 β および γ サブユニットからなるヘテロ三量体です。AMPK は、細胞のエネルギー状態を監視する重要な

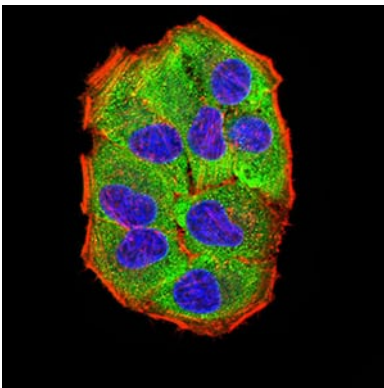
エネルギー感知酵素です。細胞の代謝ストレスに反応して AMPK は活性化され、脂肪酸とコレステロールの de novo 生合成の調節に関与する重要な酵素であるアセチル CoA カルボキシラーゼ (ACC) と β -ヒドロキシ β -メチルグルタリル CoA 還元酵素 (HMGCR) をリン酸化して不活性化します。このサブユニットは AMPK の γ 調節サブユニットの 1 つです。主に骨格筋で発現しています。ブタの同等のサブユニットに関する研究は、このサブユニットが骨格筋におけるエネルギー代謝の調節に重要な役割を果たす可能性を示唆しています。

研究分野

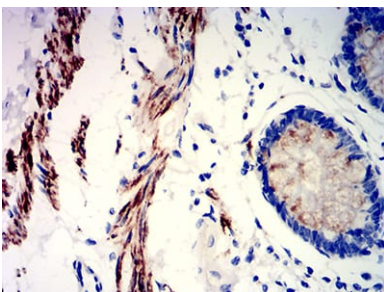
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



PRKAG3 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PRKAG3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸組織の免疫組織化学分析。